

番号	セクション	コンセプト、スペースの説明	想定される利用シーン	什器に求める機能・性能
1	ステージ・イベントエリア	セミナー・講演会・ピッチコンテスト等、既存の110インチモニターを活用したステージ・イベントスペース	50人程度が着席して視聴できるスペース。他のエリアからも視認できるのが望ましい	・可動式の机といす、テーブル付きで重ねることができるもの、不使用時に省スペースに収納できるものなど、イベントの用途に合わせてフレキシブルに利用できる什器 ・演台、マイク、スピーカー、スポットライト等ステージに必要なもの
2	ワークショップエリア	人々がリラックスして自然に交流が生まれるようなディスカッションスペース。学内関係者やラボ利用者が垣根なく自由に意見交換できるスペース。数人で作業やリフレッシュ、休憩にも利用。趣の異なるいくつかのスペース	・誰でも利用可能 ・ミーティング、雑談、休憩	・既存の下記機器等を活用して、ワークショップやディスカッション等が活発に実施できるスペース ・65インチモニター（マイク付き）2台 ・一人用机10台、 ・いす10脚 ・ホワイトボード2台 (現在杉本キャンパスグローバルビレッジにあり) ・ホワイトボード等を活用して、フレキシブルに間仕切り・空間の変更ができる
3	コワーキング・ラーニングエリア	周りの雰囲気を感じながら、仕事をしたり、勉強したりできるスペース	・誰でも利用可能 ・仕事、勉強、オンライン会議、ミーティング、雑談、休憩	
4	ライブラリーエリア	都市科学・防災研究の拠点としての知見が集まる場所であり、ライブラリーやアーカイブの機能、小規模な企画展示の機能を持つスペースとする	・書籍、資料については手続きをしたら閲覧可能 ・企画展示は自由に見ることができる	・現在、「都市科学・防災研究」関連の書籍や資料が書棚に置かれている。現在の書棚を活用してもしなくてもよい。ただし1階に置く書籍・資料は現在の半分程度にする予定 ・企画展示については、パネルや物品の展示を想定している（時期によって入れ替える）
5	全体	デジタルサイネージの活用して情報発信ができるようにする。		デジタルサイネージを2台以上設置。可動式、取付式は問わない。

	LED HUBモニター 110インチ 1台	ステージ・イベントエリアにおいて、すでに本学が所有している大型モニター等を活用する。 各リビングラボをつないでオンラインミーティングを実施したり、プレゼンテーション、ディスカッション等ができるようにする	LED HUBモニター (110インチ) 両面タッチで操作可能、ホワイトボード機能、アノテーション昨日（操作ページのスクリーンショットが撮られ、画像データの上に書き込める）搭載	
	「ELMO Board 65インチモニター + YAMAHA CS-800 カメラ・マイク・スピーカー」 2セット	ワークショップエリアで活用	ELMO Boardモニター (65インチ) 画面タッチで操作可能、ホワイトボード機能、カメラ、スピーカー、マイク搭載 Web会議可	
	テーブル10、いす10、 ホワイトボード2	ワークショップエリアで活用		